

## 博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	15S3066	院生氏名	森田 義満
通学キャンパス	大川キャンパス		
論文題目	維持血液透析を受けている心不全患者を対象とした 至適運動負荷量の推定に関する評価指標 ～ 簡便で安全な至適運動負荷量の推定法 ～		
審査結果 (枠で囲む)	<input checked="" type="checkbox"/> 合格	<input type="checkbox"/> 不合格	
<p>&lt;審査結果の要旨&gt;</p> <p>本研究目的は維持血液透析を受けている心不全患者を対象とし、至適運動負荷量を推定する簡易式を確立することとした。対象は、外来で維持血液透析を受けている心不全患者 21 名とし、至適運動負荷量体重比の推定式の検討を進めた。測定項目は、心臓超音波検査、足関節上腕血圧比検査、筋量、握力、膝伸展筋力とした。分析の結果、至適運動負荷量体重比に対する独立決定因子は、膝伸展筋力が抽出され (<math>R^2=0.50</math>)、中等度の推定精度が得られた。よって、維持血液透析を受けている心不全患者に対する至適運動負荷量の回帰式は、膝伸展筋力によって推定できる可能性が示唆された。膝伸展筋力によって至適運動負荷量を推定することは、維持血液透析を受けている心不全患者に対して安全で簡便な運動処方が可能となり、QOL 向上および予後改善に寄与することが期待できることを明らかにした。</p> <p>審査会は2回開催し、初回審査(12月12日開催)で、推定式における過負荷になる場合の配慮、至適運動負荷の妥当性などについて論文の修正を求め、修正論文の提出にて確認したところ適切に修正された。2回目の審査(1月15日開催)において、推定式の意義や至適運動負荷の選定基準に関するフロー作成について審議および口頭試問を実施し適切に対応した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 金子 純一郎</p> <p>副 査 新川 寿子</p> <p>副 査 永井 良治</p>		